

平成27年11月29日

風は東から *To be continued...*

大成、三鷹高校などシード校が敗れる！！
新人戦はどの地区も波乱の幕開け...

新人戦の初戦を勝利で飾る！！

次戦(VS 明星学園)に向けて、気を引き締めて日々を過ごす！！

11月23日(月)、今年度一番の寒さと小雨の降る中、東高グラウンドで、新人戦二回戦が行われました。東高は一回戦がシードのため、この日が新チームにとっての**初**公式戦です。新チームの船出を、東高グラウンドで迎え、闘えるのはラッキーなことです。

初戦の対戦相手は、前日に富士森高校を5-1で撃破し、勢いに乗る**八王子実践高校**です。満を持して一回戦の観戦に出掛けましたが、FWの左利きの⑪、MFの⑩、⑭、そして反応のいいGKと縦のラインに経験者がいて、チームとしての安定感がありました。特に、FWの⑪は、全てのゴールに絡む(ハットトリック?)大活躍で、一人でゲームを決めることのできる相手にとっては危険な存在です。こういう選手が、公式戦を決めてしまうことが多いのも、一発勝負のトーナメントならではの厳しさです。また、新人戦は、他の大会に比べて最も番狂わせの起きやすい大会です。気を引き締めて一戦一戦を闘わなければなりません。

そこで、子どもたちには、公式戦初戦特有の緊張感を想定して、ゲーム前のミーティングでは「**公式戦初戦の相手は、敵に非ず自分自身である！！**」と発破をかけ、新チームになってからまだ三か月間ではありますが、この間**TR&TRM**で叩き上げてきた経験と自信、そして培われてきた強い精神力を、公式戦という本番の舞台で全て出し尽くすことができれば、結果は自ずと手繰り寄せることができると話してピッチに向かわせました。

雨天で、一週間順延になったにも関わらず、この日も多くの保護者や三年生サッカー部員が応援に訪れ、横断幕前の応援団の現役部員とともに「**新生東高イレブン**」を見守る中、定刻通りにキックオフしました。



<試合前の円陣(左)と多くの人の声援をバックに公式戦初戦に臨む(右)>

守備陣の安定感が攻撃陣の爆発を生む！！

立ち上がりこそは、予想通り緊張からか、地に足が付いていないとかボールが足に付いていない感じでイージーミスが目立ちましたが、開始早々にビックチャンスを立て続けに作ると、「**行ける！！**」という手応えを掴んだのか攻撃に勢いが増し、前半7分に**原木**が先制すると、**鎌田、林田、森**がゴールを決めて前半を5-0で折り返し、ゲームを決定づけます。しかし、次戦に繋げるためには、後半の闘い方は重要です。攻撃の手を緩めずにゴールを奪い失点は「**ゼロ**」ということを確認して後半の35分を迎えました。後半早々に**金子**がゴールを決めると、ここから暫くは相手GKのファインセーブやシュートミスが目立ち、中弛みのような嫌な時間帯となります。すると案の定、ミス絡みで与えたCKからこぼれ球を押し込まれ一点を返されました。これでやっと目を覚ましたのか、**林田**がこの日三点目となるゴールでハットトリックを完成させると、残りの10分間で**原木、吉村**がゴールを決めて、終わってみると**9-1**で新チームの初戦を勝利で飾り、「**NEW東高サッカー部**」の新たな歴史がスタートしました。

このゲームでは、攻撃に於いて一定の成果は見られましたが、併せていつもチームの課題であった「**守備の意識**」⇒「**ボールを奪う**」ことができていて、金井氏の**TR**の成果が徐々に子どもたちに浸透してきているように実感しています。これは一朝一夕には身に付かない地道な**TR**ですが、重要項目なので今後も継続して積み上げていきたいと思っています。



<安定した守備陣が、攻撃陣の爆発を生む！！**林田**ハットトリック、**原木**2得点>

<新人戦組み合わせ>

12月13日(日) **9:30ko** VS **明星学園** **東高G**

12月20日(日) **14:00ko** VS **翔陽一工学院の勝者** **明大中野八王子G**

※ 尚、試合会場へ応援にお越しの際は、**公共交通機関**を利用されますよう、ご理解・ご協力の程、宜しくお願いします。

<After the Game>

ご存知のように、**大成高校、三鷹高校**というシード校が、初戦で相次いで**PK合戦**の末敗れるという波乱が起きました。他地区でも同様に、駿台学園、東京成徳、大東文化一、武蔵というTリーグのチームが早々に敗退しています。その教訓を活かし、前日には八王子実践、ゲーム終了後には無礼ながら保護者の方への挨拶もせず、直ぐに三鷹高校へ移動して、次戦で対戦する明星学園のゲームを観戦してきました。申し訳ありません…。どんなに準備を周到にしても完璧はありませんが、やらないよりはやった方がいいので、次戦に向けて着々と進めていきます。